

大気降下物に関する解析評価（調査解析3）

大気由来の負荷量やその影響を把握するため、東アジアから日本、西日本から近畿、滋賀県に至る大気降下物の動態をシミュレーション解析することにより、琵琶湖集水域への負荷量や微小粒子状物質にかかる原因物質排出源の推定や光化学オキシダントの生成機構を解明します。

また、モデル値と成分分析等実測値の比較検証を行うことで時期や地域ごとに現状を詳細に解析評価します。

[キーワード：大気降下物，微小粒子状物質，光化学オキシダント，窒素負荷量]

取組内容

[湿性・乾性降下物、微小粒子状物質の把握]

- ・気象、排出源、大気各モデルによるシミュレーション結果と降雨や面源負荷の実測値による解析および過去データと比較検証します。
- ・温度や湿度の影響を受けやすい微小粒子状物質のサンプリング方法について検討します。

サブテーマ名「大気降下物の流域への負荷量把握」・「微小粒子状物質の現状把握」

研究全体のイメージ

